



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社  
 コード番号 9048 URL <https://top.meitetsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 裕樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 川津 智典  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL (052)588-0846

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	406,668	12.9	20,806	212.1	23,358	65.5	15,900	93.9
2022年3月期第3四半期	360,147	0.8	6,667	—	14,115	—	8,201	—

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 19,449百万円 (211.0%) 2022年3月期第3四半期 6,254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	80.90	75.59
2022年3月期第3四半期	41.71	38.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,199,570	425,476	33.4
2022年3月期	1,186,897	411,132	32.3

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 400,774百万円 2022年3月期 383,323百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	547,000	11.4	21,000	616.2	22,000	67.5	16,000	70.8	81.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	196,700,692 株	2022年3月期	196,700,692 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	166,838 株	2022年3月期	56,849 株
------------	-----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	196,542,888 株	2022年3月期3Q	196,647,823 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことに伴い、交通事業やレジャー・サービス事業を中心に需要が回復したことに加え、不動産事業における分譲マンション販売の引渡戸数の増加などにより、406,668百万円（前年同期比12.9%増）となりました。営業利益は、燃料費等の費用が増加したものの、増収により20,806百万円（前年同期比212.1%増）となりました。経常利益は、雇用調整助成金の減少などにより営業外損益が悪化したものの、営業増益により23,358百万円（前年同期比65.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損益の悪化に加え法人税等が増加したものの、経常増益により15,900百万円（前年同期比93.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## ①交通事業

交通事業の営業収益は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、各事業の輸送人員が回復したことにより99,157百万円（前年同期比13.1%増）となり、営業損益は、燃料費の増加があったものの、増収により前年同期に比べ7,109百万円収支改善し6,007百万円の利益となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
鉄軌道事業	60,274	53,579	12.5	5,277	1,643	221.2
バス事業	25,879	23,208	11.5	464	△1,637	—
タクシー事業	14,263	12,505	14.1	157	△1,223	—
調整額	△1,260	△1,612	—	107	115	—
計	99,157	87,681	13.1	6,007	△1,101	—

## ②運送事業

運送事業の営業収益は、海運事業における旅客需要の回復などにより104,818百万円（前年同期比2.2%増）となり、営業利益は、人件費や燃料費の増加によりトラック事業は減益となったものの、海運事業の増収により3,674百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
トラック事業	117,028	117,792	△0.6	2,212	3,238	△31.7
海運事業	12,840	10,810	18.8	1,341	△95	—
調整額	△25,051	△26,084	—	120	179	—
計	104,818	102,518	2.2	3,674	3,322	10.6

## ③不動産事業

不動産事業の営業収益は、分譲マンション販売の引渡戸数の増加により67,480百万円（前年同期比17.5%増）となり、営業利益は、増収により9,298百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
不動産賃貸業	36,481	34,153	6.8	7,046	6,697	5.2
不動産分譲業	26,233	18,009	45.7	1,898	696	172.6
不動産管理業	9,910	9,807	1.1	353	391	△9.7
調整額	△5,145	△4,516	—	0	△47	—
計	67,480	57,454	17.5	9,298	7,737	20.2

## ④レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業の営業収益は、国内観光需要が回復したことにより61,975百万円（前年同期比68.1%増）となり、営業損益は、増収により前年同期に比べ5,499百万円収支改善し722百万円の利益となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
ホテル業	12,036	7,113	69.2	△1,462	△3,677	—
観光施設事業	13,673	10,037	36.2	583	△467	—
旅行業	36,748	20,097	82.8	1,628	△615	—
調整額	△481	△379	—	△28	△17	—
計	61,975	36,870	68.1	722	△4,777	—

## ⑤流通事業

流通事業の営業収益は、百貨店業は増収となったものの、輸入車販売や建設資材の取扱いが減少したことなどにより48,576百万円（前年同期比1.8%減）となり、営業損失は、減収により前年同期に比べ245百万円収支悪化し1,762百万円となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
百貨店業	13,045	12,288	6.2	△1,762	△1,929	—
その他物品販売	35,614	37,254	△4.4	226	321	△29.5
調整額	△83	△90	—	△226	90	—
計	48,576	49,452	△1.8	△1,762	△1,517	—

## ⑥航空関連サービス事業

航空関連サービス事業の営業収益は、航空整備事業の受注増加や機内食事業における需要回復により18,390百万円（前年同期比7.1%増）となり、営業利益は、機内食事業の収支改善により1,709百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
航空関連サービス事業	18,609	17,474	6.5	1,708	1,667	2.4
調整額	△218	△304	—	0	5	—
計	18,390	17,170	7.1	1,709	1,673	2.2

## ⑦その他の事業

その他の事業の営業収益は、カーリース契約やシステム関連の受注の増加などにより31,979百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益は、設備保守整備事業の収支悪化などにより1,068百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
設備保守整備事業	15,853	15,870	△0.1	1	233	△99.3
その他事業	16,786	15,693	7.0	1,060	888	19.4
調整額	△660	△545	—	5	△17	—
計	31,979	31,018	3.1	1,068	1,104	△3.3

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、設備投資等による有形固定資産の増加や、保有上場株式の時価上昇等による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12,672百万円増加し1,199,570百万円となりました。

負債は、鉄道高架化工事等に関する工事負担金等の前受金が増加した一方で、工事代金の支払等により支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,670百万円減少し774,094百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ14,343百万円増加し425,476百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回公表時(2022年11月8日)より変更はありません。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,927	41,346
受取手形、売掛金及び契約資産	58,877	59,002
短期貸付金	1,871	1,870
分譲土地建物	73,181	76,199
商品及び製品	5,427	7,399
仕掛品	675	1,798
原材料及び貯蔵品	4,620	5,264
その他	16,196	20,707
貸倒引当金	△182	△259
流動資産合計	211,596	213,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	307,840	300,369
機械装置及び運搬具（純額）	79,359	79,423
土地	356,040	361,680
リース資産（純額）	12,000	10,521
建設仮勘定	61,990	76,245
その他（純額）	7,933	7,370
有形固定資産合計	825,163	835,610
無形固定資産		
施設利用権	7,040	6,593
のれん	660	1,506
リース資産	335	290
その他	3,063	3,054
無形固定資産合計	11,099	11,444
投資その他の資産		
投資有価証券	101,661	106,790
長期貸付金	431	359
繰延税金資産	19,732	15,999
その他	17,714	16,509
貸倒引当金	△501	△473
投資その他の資産合計	139,037	139,186
固定資産合計	975,301	986,241
資産合計	1,186,897	1,199,570



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,091	57,353
短期借入金	38,257	48,018
コマーシャル・ペーパー	36,000	10,000
1年内償還予定の社債	-	30,080
リース債務	2,132	1,328
未払法人税等	5,388	3,508
従業員預り金	20,459	20,750
賞与引当金	5,193	1,339
整理損失引当金	20	-
商品券等引換引当金	349	295
その他	89,620	105,791
流動負債合計	264,512	278,466
固定負債		
社債	225,100	215,000
長期借入金	155,296	152,050
リース債務	11,781	11,008
繰延税金負債	4,646	4,245
再評価に係る繰延税金負債	55,329	55,014
役員退職慰労引当金	1,141	27
整理損失引当金	5,895	5,510
退職給付に係る負債	33,620	33,806
その他	18,442	18,963
固定負債合計	511,253	495,628
負債合計	775,765	774,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	101,158	101,158
資本剰余金	38,405	40,074
利益剰余金	142,815	156,278
自己株式	△113	△352
株主資本合計	282,266	297,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,616	16,429
繰延ヘッジ損益	741	241
土地再評価差額金	86,257	86,567
為替換算調整勘定	△16	32
退職給付に係る調整累計額	457	344
その他の包括利益累計額合計	101,057	103,615
非支配株主持分	27,808	24,701
純資産合計	411,132	425,476
負債純資産合計	1,186,897	1,199,570

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
営業収益	360,147	406,668
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	319,802	349,741
販売費及び一般管理費	33,676	36,119
営業費合計	353,479	385,861
営業利益	6,667	20,806
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	1,164	1,231
持分法による投資利益	2,469	1,783
雇用調整助成金	3,743	722
雑収入	2,407	1,292
営業外収益合計	9,801	5,049
営業外費用		
支払利息	2,209	2,104
整理損失引当金繰入額	-	95
雑支出	144	297
営業外費用合計	2,354	2,498
経常利益	14,115	23,358
特別利益		
固定資産売却益	504	636
工事負担金等受入額	278	707
投資有価証券売却益	1,817	1,007
移転補償金	790	-
その他	317	248
特別利益合計	3,707	2,600
特別損失		
固定資産売却損	72	48
減損損失	454	141
固定資産除却損	802	243
投資有価証券売却損	-	160
投資有価証券評価損	83	32
整理損失引当金繰入額	303	-
工事負担金等圧縮額	245	608
その他	264	82
特別損失合計	2,227	1,318
税金等調整前四半期純利益	15,595	24,640
法人税、住民税及び事業税	4,177	5,557
法人税等調整額	1,956	2,228
法人税等合計	6,134	7,785
四半期純利益	9,460	16,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,259	954
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,201	15,900

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	9,460	16,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,797	3,007
繰延ヘッジ損益	265	△512
土地再評価差額金	△308	299
為替換算調整勘定	13	49
退職給付に係る調整額	△155	△94
持分法適用会社に対する持分相当額	△223	△154
その他の包括利益合計	△3,206	2,594
四半期包括利益	6,254	19,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,077	18,494
非支配株主に係る四半期包括利益	1,176	954

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書における(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービ ス事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	85,787	102,231	50,139	36,658	47,609	17,170	20,550	360,147	—	360,147
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,893	286	7,315	211	1,842	—	10,467	22,017	△22,017	—
計	87,681	102,518	57,454	36,870	49,452	17,170	31,018	382,164	△22,017	360,147
セグメント利益又は損失(△)	△1,101	3,322	7,737	△4,777	△1,517	1,673	1,104	6,440	226	6,667

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理業等

2 セグメント利益又は損失の調整額226百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービ ス事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	97,004	104,555	59,654	61,591	46,188	18,390	19,282	406,668	—	406,668
セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,152	262	7,825	383	2,388	—	12,697	25,710	△25,710	—
計	99,157	104,818	67,480	61,975	48,576	18,390	31,979	432,378	△25,710	406,668
セグメント利益又は損失(△)	6,007	3,674	9,298	722	△1,762	1,709	1,068	20,717	89	20,806

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理業等

2 セグメント利益又は損失の調整額89百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。